２０２６年度

摂食嚥下障害看護
認定看護師教育課程
（Ｂ課程：特定行為研修を含む）

募 集 要 項

公立大学法人 新見公立大学
全世代型地域包括ケア研究センター

目　　次

認定看護師教育課程

Ⅰ．教育理念 …… 1
Ⅱ．教育目的 …… 1
Ⅲ．認定看護師教育課程摂食嚥下障害看護分野
　１．期待される能力 …… 1
　２．コアとなる知識・技術 …… 2
Ⅳ．摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の定員・教育期間・スケジュール… 2
Ⅴ．科目及び授業時間数 …… 3
Ⅵ．受講者選抜試験実施要項
　１．募集人員 …… 4
　２．試験科目・日程と会場 …… 5
　３．受験資格 …… 6
　４．出願手続 …… 6
　５．受験票の発行 …… 8
　６．受講者選抜 …… 8
　７．個人情報の利用目的 …… 8
　８．合否の通知 …… 8
　９．受講手続 …… 9
１０．修了要件 …… 9
１１．情報開示 ……10

公立大学法人新見公立大学
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程
（Ｂ課程：特定行為研修を含む）

公立大学法人新見公立大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の概要

Ⅰ．教育理念

【新見公立大学の教育理念】

新見公立大学は、「誠実・夢・人間愛」を建学の精神とし、人と人とが繋がり合う地域に根ざした大学として、地域を拓く優れた人材を育成するとともに、専門領域の教育研究の成果を国際的な視野に立ち広く社会へ還元することを目指す。【学則第１条（理念）を引用】

【認定看護師教育課程の教育理念】

新見公立大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程では、高度専門化する保健・医療・福祉の現場において、看護を必要とする対象の課題解決および生活の質向上に貢献するために、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間性と高い倫理観を有し、特定領域に関連した科学的根拠に基づいた水準の高い看護を実践できる人材を育成します。

Ⅱ．教育目的

保健・医療・福祉の課題が複雑化、多様化、重層化する地域社会において、自律した看護専門職として活躍できるための水準の高い実践能力、指導力、調整力を有する摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を目指します。

１．摂食嚥下障害看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成します。
２．摂食嚥下障害看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成します。
３．摂食嚥下障害看護分野において、看護職等に対し、コンサルテーションを行える能力を育成します。
４．摂食嚥下障害看護分野において、多職種と連携・協働してチーム医療を推進していくための能力を育成します。

Ⅲ．認定看護師教育課程摂食嚥下障害分野

１．期待される能力

１）摂食嚥下障害看護分野において、高い臨床推論力・病態判断力に基づき、摂食嚥下障害の病態や機能帰結をふまえて目標設定し、問題解決のための援助を行うことができる。

2）脳神経・筋骨格系フィジカルアセスメント及び摂食嚥下機能評価法を用いて、摂食嚥下機能を評価することができる。
3）摂食嚥下障害に対する適切な援助及び訓練を選択し、安全・確実に実施することができる。
4）摂食嚥下機能低下のある人々の誤嚥性肺炎、窒息、低栄養、脱水のリスクを評価し、予防・増悪防止に向けたリスク管理ができる。
5）人々の食べる権利を擁護し、本人・家族の意思決定を尊重した看護を実践できる。
6）摂食嚥下障害看護の実践を通して役割モデルを示すとともに、リーダーシップを発揮し、看護職へ指導を行うことができる。
7）摂食嚥下障害看護において、看護職等からの相談に対して相談者が自らの力で問題解決の方向を見出すことができるよう、コンサルテーションを行うことができる。
8）摂食嚥下リハビリテーションにおいて、医療・介護・福祉分野で専門性を発揮する多職種と協働し、より質の高いチーム医療を提供するためのキーパーソンとして、役割を果たすことができる。

2．コアとなる知識・技術
1）摂食嚥下機能とその障害に関する知識及びベッドサイドにおける評価技術
2）摂食嚥下機能の評価結果に基づく適切な援助・訓練方法の選択に関する知識及び安全な実施技術
3）誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防に関する知識及び増悪防止に向けたリスク管理技術

Ⅳ．摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の定員・教育期間・スケジュール

教育課程	定員	教育期間
摂食嚥下障害看護	4名	2026年4月1日（水） ～ 2027年3月31日（水）

＊特定行為区分「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を組み込んでいます。
＊教育課程修了者は、公益社団法人日本看護協会が実施する認定看護師認定審査を受験する資格を取得できます。また、厚生労働省の特定行為研修修了証が授与されます。

<table>
<tr><td colspan="9">2026年</td><td colspan="3">2027年</td></tr>
<tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="5">入講式、オリエンテーション
eラーニング
（共通科目・区分別科目）</td><td colspan="2">臨地実習
（特定）</td><td colspan="2">集合教育
（講義・演習・科目試験）</td><td>臨地実習
（認定）</td><td colspan="2">統合演習
修了試験</td></tr>
</table>

＊ｅラーニングは自宅あるいは自施設での受講が可能です。但し、授業内容によっては

来学が必要です。【登校日：e ラーニング期間中（５～８月）に、演習・実習。８月には３日間の筆記試験】

＊臨地実習は、特定行為区分の実習と認定看護分野の実習を行います。

・特定行為区分の臨地実習（★）は、原則として受講者の所属施設で行います。教育課程修了後、継続して指導医の指導を受け、各施設の体制に即した特定行為の実践基盤を持つことが重要です。当課程は、所属施設（もしくはその地域の病院など）を「協力施設」として臨地実習が行うことができるようにサポートを行います。

・認定看護分野の臨地実習は、認定看護分野ごとに定められた実習施設の要件を満たす岡山県内の医療機関で行う予定です。

＊集合教育期間中は、新見公立大学で講義等を履修します。

★）臨地実習指導者の要件

●少なくとも１名以上は、施設に勤務する医師であること

【医師・歯科医師】

7 年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師・歯科医師臨床研修における指導経験を有する者

【看護師】以下いずれか

・特定行為研修修了者

・専門看護師及び認定看護師

・大学等での教育・指導経験を有する看護師

＊当該分野の認定看護師がいない場合であっても研修施設とみなすことができる場合

【書類審査により、以下の基準を満たすと認められた場合】

①通算 3 年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。

②摂食嚥下障害患者を 5 例以上担当した実績を有すること。

③現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。

Ⅴ．科目及び授業時間数

科目名		教科目名	時間数*
特定行為研修に該当する科目	共通科目	1）臨床病態生理学	40（30）
		2）臨床推論	45.3（34）
		3）臨床推論：医療面接	14.7（11）
		4）フィジカルアセスメント：基礎	30.7（23）
		5）フィジカルアセスメント：応用	29.3（22）
		6）臨床薬理学：薬物動態	14.7（11）
		7）臨床薬理学：薬理作用	45.3（34）
		8）臨床薬理学：薬物治療・管理	
		9）疾病・臨床病態概論	40（30）

		10）疾病・臨床病態概論：状況別		14.7（11）
		11）医療安全学：医療倫理		30.7（23）
		12）医療安全学：医療安全管理		
		13）チーム医療論（特定行為実践）		30.7（23）
		14）特定行為実践		
		合　計		〔336.1(252)〕
	区分別科目	1）栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		22.7（17）
		実習	A）持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	5症例
			B）脱水症状に対する輸液による補正	5症例
		合　計		〔22.7時間＋実習〕
認定看護師分野	共通科目	15）指導		16
		16）相談		16
		17）看護管理		16
		合　計		〔48時間〕
	専門科目	1）リハビリテーション総論		15
		2）摂食嚥下障害病態論		30
		3）摂食嚥下機能評価論		30
		4）摂食嚥下障害看護技術論		30
		5）リスクマネジメント論		30
		6）摂食嚥下障害援助論Ⅰ		30
		7）摂食嚥下障害援助論Ⅱ		15
		8）摂食嚥下障害援助論Ⅲ		30
		9）摂食嚥下障害援助論Ⅳ		15
		合　計		〔225時間〕
		1）統合演習		15
		2）臨地実習		150
		合　計		〔165時間〕
全教科目合計				〔796.8時間〕

＊時間数は 45 分を 1 時間で記載しています。

＊特定行為研修に該当する科目は、(　　)内に 60 分を 1 時間に換算した時間を併記しています。

Ⅵ. 受講者選抜試験実施要項

1．募集人員

教育課程	募集人員
摂食嚥下障害看護	4 名

＊区域内該当者を優先（p.8「6.受講者選抜」参照）

２．試験科目・日程と会場

１）試験科目

（１）筆記試験　　【専門科目・小論文】

（２）面接試験

２）試験日程及び実施時間

２０２５年１０月４日（土)、〈予備日〉１０月５日（日）

試験方法	試験科目	配点
筆記試験	専門科目	１００点
	小論文	１００点
面接試験	面　接	１００点
合計		３００点

＊志願者が多数の場合は、10 月４日（土)、５日（日）の２日間にわたって試験を実施する場合があります。

出願者には、９月下旬頃、受験票とともに試験日程及び実施時間を郵送にてお知らせします。

３）試験内容

試験科目	試験内容
専門科目	【マークシート方式（四肢択一）】 計40 問 ・一般医学、看護の基礎知識（20問） ・摂食嚥下障害の理解に必要な基礎知識（10問） ・摂食嚥下障害看護に関連した基礎知識（10問）
小論文	【分野における状況設定問題（記述）】 ・臨床場面における患者の状況に関して、論理的思考能力、判断力、および文章表現能力を問う。
面接試験	一人15分程度の個人面接を行う。

４）試験会場

公立大学法人新見公立大学

５）受験上の注意事項

（１）筆記試験は、試験開始後２０分以内の試験室入室に限り受験を認めます。
ただし、試験時間の延長は認めません。

（２）筆記試験、面接試験のいずれかひとつでも受験しなかった者は、受験を辞退したものとして取り扱います。

（３）試験時間中に使用を許可する物は、鉛筆（シャープペンシル可)、消しゴム、鉛

筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。

（４）試験当日は受験票を必ず持参し、常に携帯してください。受験票を忘れた者は、係員の指示に従い、仮受験票の交付を受けてください。

（５）携帯電話は、試験室入室の前に電源を切っておいてください。

（６）昼食は各自で用意してください。

（７）試験会場では、係員の指示に従ってください。

（８）試験当日の体調管理には十分注意してください。

（９）体調不良等により受験できなかった場合においても、追試験等の特別措置及び受講検定料の返還はいたしません。

３．受験資格

受験資格については、以下の要件をすべて満たしているものとする。

１）日本国の看護師免許を有すること。

２）看護師免許を取得後、通算 5 年以上[注 1)] 実務研修[注 2)] をしていること。

３）摂食嚥下障害看護分野の実務研修[注 2)] を行っていること。

（１）摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を通算 3 年以上[注 3)] 有すること。（フルタイム勤務でない場合には、1,800 時間以上の勤務時間をもって 1 年相当とみなします。）

（２）摂食嚥下障害患者を 5 例以上担当した実績を有すること。

（３）現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。

注 1） 2025 年 7 月 31 日時点で看護実務経験が 60 か月以上であることを意味する。

注 2） 実務研修とは、看護実務経験を意味する。

注 3） (1) ～ (3) で示している看護実務経験を意味する。
通算 3 年以上とは 2025 年 7 月 31 日時点で通算 36 か月以上を意味する。

４．出願手続

１）願書受付期間

２０２５年9月1日（月）～　２０２５年9月１２日（金）　１７：００　【必着】

２）提出書類

（１）受講願書【様式１】

（２）履歴書等【様式２－１、２－２、２－３】

（３）実務経験報告書【様式３－１、３－２】

（４）勤務証明書【様式４】

（５）推薦書【様式５】　　＊離職中の場合は提出不要

（６）志望理由書【様式６】

（７）事例報告書【様式７】
（８）特定行為研修自施設情報【様式８】
（９）写真票及び受験票【様式９】
（１０）看護師免許証写し（A4 版縮小コピー）１部
（１１）受講検定料振替払込受付証明書【様式１０】
（１２）受験票返信用レターパックプラス（600 円赤色）返信宛先明記
（１３）住民票記載事項証明書【様式１１】
（2024 年 3 月 31 日以前から新見市に住所を有している者のみ。但し、新見市内の医療機関に勤務している場合は不要。）
提出書類に不備がある場合は、受理できないこともありますのでご注意ください。
＊写真票、受験票の受験番号欄は記入しないでください。
＊(1)～(11)及び(13)【様式１～11】は、新見公立大学ホームページ
（https://www.niimi-u.ac.jp/）よりダウンロードしてください。
＊出願に際しご不明な点等ありましたら、教育課程担当へお問い合わせください。

３）提出方法
レターパックプラス（600 円赤色）で期日までに下記あてに郵送してください。

「品名欄」に摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程出願書類在中と明記してください。

〒 718-8585　岡山県新見市西方 1263 番地 2
公立大学法人新見公立大学
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程 担当　宛

＊直接持参による提出も可能です。
（その場合は、上記宛先を明記した封筒に入れ提出してください。）

４）受講検定料
【受講検定料】　５０,０００円（税込）
【振込金融機関】 中国銀行 新見支店
（口座番号） 普通口座　１５２１７０３
（口座名称） 公立大学法人新見公立大学　理事長　公文裕巳
(ｺｳﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝﾆｲﾐｺｳﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸ　ﾘｼﾞﾁｮｳ　ｸﾓﾝ　ﾋﾛﾐ)
振込依頼人名欄に受験者の氏名を記入して上記口座に振込みのうえ、振込みを確認できるもの（明細書等）を【様式 10】に貼付してください。インターネットバンキングを利用する場合は、振込完了を確認し、「振込明細照会」を印刷して添付してください。

＊原則として本学から領収証の発行はいたしません。
＊既納の受講検定料は、原則として返還できませんのであらかじめご了承ください。
＊振込手数料は、各自ご負担ください。

５．受験票の発行

提出書類一式を審査し、受験申請者により同封された返信用封筒を用いて受験票を郵送する。

＊試験日の５日前までに受験票の届かない方は､教育課程担当までご連絡ください。
＊受験票は、受験時に必ず携帯してください。

６．受講者選抜

受講者選抜は筆記試験及び面接試験により実施し、その成績を新見公立大学認定看護師教育課程受講者選抜委員会において審議し決定します。

専門科目・小論文及び面接試験の結果を総合的に判断して決定し、同点の場合は面接点の高い方を上位とします。

１）初めに、合格判定基準を満たした受験者のうち、総合点の高い「区域内」受験者１名を合格とします。

２）次に、合格判定基準を満たした全ての受験者のうち、総合点の高い上位３名を合格とします。なお、上記１）の該当者がいない場合は、総合点の高い上位４名を合格とします。

＊「区域内」とは、本人が入講の日の属する月の初日において引き続き１年以上新見市内に住所を有する場合又は１年以上新見市内の医療機関に勤務する場合とし､「区域外」とはそれ以外の場合とし、その認定は、住民基本台帳等により行います。

７．個人情報の利用目的

「公立大学法人新見公立大学における個人情報の適正な管理に関する規程」に基づき、個人情報の取得・利用を適正に行います。出願書類により取得した個人情報は、以下の目的で使用し、それ以外の目的に利用することはありません。

１）受講試験（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理、合格発表、通知等）に関する業務、入講手続に関する業務及び付随する業務

２）入講に伴う事務（受講手続等)、受講料の収納事務及び付随する事務

８．合否の通知

１）合否通知

（１）合格者の受験番号については、２０２５年１０月１７日（金）１１：００に新見公立

大学ホームページ上で発表します。あわせて、合格者に対し、結果を郵送で通知します。

（２）電話やメールでの合否の問い合わせには対応しません。

２）追加合格

（１）受講手続を締め切った結果、定員に欠員が生じた場合は、２０２５年１１月６日（木）以降に合格者の追加を行うことがあります。

（２）追加合格は、電話により直接受験者に通知します。追加合格者の受講手続は、追加合格連絡の際に改めて説明します。

（３）追加合格について、電話やメールでの合否の問い合わせには対応しません。

９．受講手続

１）受講手続

（１）受講手続方法は、合格通知時に書類で案内します。

（２）受講手続期間は、２０２５年１０月２２日（水）～　２０２５年１１月５日（水）１７：００【必着】です。

（３）納付金

①入講料

	入講料
区域内	３５,０００円（税込）
区域外	５０,０００円（税込）

②受講料（年間）

	受講料
区域内	９６５,０００円（税込）
区域外	１,０５０,０００円（税込）

＊　区域内（p.8「6.受講者選抜」参照）

＊既納の入講料・受講料は、原則として返還できませんのであらかじめご了承ください。また、退学、休学の際についても、既納の受講料等は、原則として返還できません。

（４）　その他の費用

受講中の交通費、宿泊費、パソコン等の機器、通信費、書籍等の教材費その他受講に必要な費用は自己負担となります。

10. 修了要件

本教育課程を修了するには、次の要件をすべて満たす必要があります。

・定められたすべての教科目を修得していること

・修了試験に合格していること
・教員会で修了を認められていること

11. 情報開示

1）試験内容等の開示

次の（1)(2)について、閲覧が可能です。

（1）前年度筆記試験「専門科目」の試験問題

（2）前年度筆記試験「小論文」出題内容

閲覧場所：新見公立大学内

開示期間：２０２６年5月1日（金）～

2）試験結果の開示

受験者のうち希望者には、個人の試験得点結果（各科目の得点、総得点）を開示します。開示受付期間内に教育課程担当へ下記書類を提出してください。

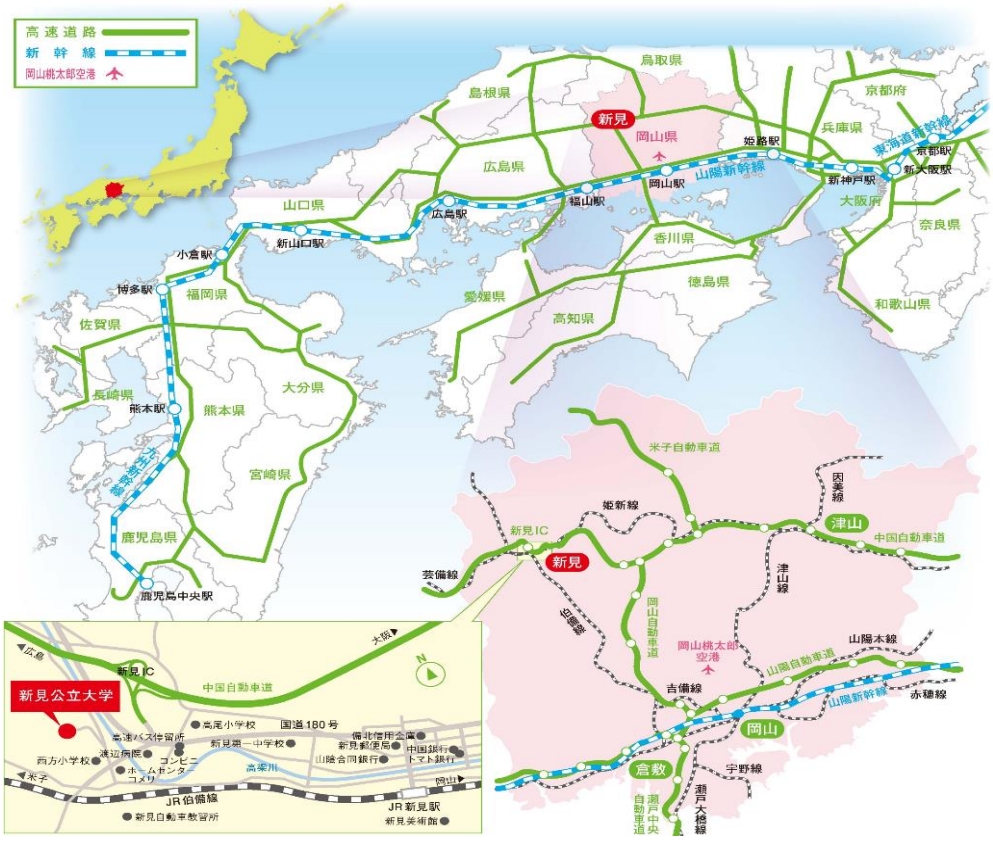
（1）提出書類等

・成績開示請求書（請求者氏名等記載のこと）〈任意様式〉
・返信用封筒（長3サイズ、返信先住所記載、３２０円分（特定記録郵便）の切手添付のこと）
・本学受験票（原本）

（2）開示受付期間

２０２６年5月1日（金）～２０２６年5月２９日（金）【消印有効】

（会場までの案内図）



（公共交通案内）

JR利用
新見駅までの所要時間

岡山	約1時間	松江	約1時間30分
倉敷	約50分	高松	約2時間
東京	約4時間30分	松山	約3時間30分
名古屋	約2時間30分	高知	約3時間30分
新大阪	約2時間	博多	約3時間
広島	約1時間30分	熊本	約3時間30分
鳥取	約2時間	鹿児島	約4時間

車利用
新見ICまでの所要時間

大阪	約3時間	福山	約1時間30分	松山	約3時間
姫路	約2時間	広島	約2時間	高知	約3時間
佐用	約1時間30分	鳥取	約2時間30分	徳島	約3時間
岡山	約1時間30分	米子	約1時間30分	山口	約3時間
倉敷	約1時間30分	松江	約2時間	下関	約4時間
三次	約1時間	高松	約2時間		

飛行機利用
岡山桃太郎空港までの所要時間

羽田	1時間15分
那覇	1時間50分
札幌	1時間50分

新見駅からの所要時間：JR新見駅 下車 → タクシー 5分 1.9km → 本学

新見ICからの所要時間：新見IC 下車 → 車2分 0.7km → 本学

岡山桃太郎空港からの所要時間：岡山桃太郎空港
- 岡山桃太郎空港リムジンバス30分 → JR岡山駅乗車 → 伯備線（特急やくも）1時間 → JR新見駅 下車 → タクシー 5分 1.9km → 本学
- 岡山桃太郎空港リムジンバス35分 → JR倉敷駅乗車 → 伯備線（特急やくも）50分 → JR新見駅 下車 → タクシー 5分 1.9km → 本学

＊交通アクセス、所要時間などは諸事情により変わることがあります。
（JR利用の所要時間に乗り換え時間は含みません。）

【連絡先】

〒 718-8585　岡山県新見市西方 1263 番地 2
公立大学法人新見公立大学
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程 担当（教務課内）
ＴＥＬ　:０８６７－７２－０６３４
ＦＡＸ　:０８６７－７１－２３３７
E-mail：cn-enge@niimi-u.ac.jp